

大杉谷国有林からの手紙

62通目 ～野生動物との距離感～

2025年7月

梅雨明けはまだですが、すでに梅雨明けのような夏らしい暑さとなってきました。

今回は、4月に実施されました大杉谷登山歩道合同パトロールの様子と大杉谷で見られる野生動物とのかかり方についてお話しさせていただきます。

大杉谷登山歩道合同パトロール

4月15日から16日の2日間の日程で、今年も実施しました。前回61通目にてパトロールの概要や登山歩道についての説明をしておりましたので、それらについては今回割愛させていただきます。



【写真1 足元の悪い鎖場箇所】

くなる所もあるので注意しましょう。鎖の握り方は、下りの場合は逆手で掴むようにしましょう。顺手だと滑って転んだ場合に、肩が脱臼する危険があります。一日を通して春らしい気温でしたが、歩いていると暑く感じ、休憩の際に宮川の冷たい水で顔を洗うと気持ち良かったです。桃の木山の家では、温かい風呂に浸かり美味しい夕食をいただくことができ疲れが癒されました。夕食が終わる頃から雨が降ってきて、夜は大きな雨音に包まれながら2日目に備え早めに就寝しました。



2日目の明け方には雨が上がり午前中は幸いなことに晴天でしたが、午後からは雲が出てきて霰（あられ）が降りました。4月だというのに驚きでした。雨具や防寒着の準備はしているため問題なく対応することができました。そして日出ヶ岳を目前にした最後の

急登あたりの歩道が雪で埋まっており、進めないのではとヒヤヒヤしましたが、気を付けながら越えて山頂まで上がることができました。2日目のルートはほとんど上りが続くため、体力的にも精神的にも負担がかかります。歩かれる際は焦らずに自分のペースを保ち、適度に休みながら進むようにしましょう。



【写真4 マムシグサ】



【写真5、6 頂上付近の積雪のようす】

今年のパトロールでは、4月14日まで雨が降っていた影響で水量の多い迫力のある滝の姿を見られたり、まるで四季を2日間に凝縮したような天候に対応しながら歩いたり、大杉谷の新たな一面を見ることができました。

春や秋の大杉谷登山では今回のように、標高が高くなると気温がぐっと下がることがあります。体調を崩さないためにもしっかりと準備して臨みましょう。

←【写真2 透明で冷たい宮川上流】

【写真3 吊橋を渡ると桃の木山の家へ到着】

↓【写真7、8 頂上付近からの眺め】



森の生き物紹介

登山歩道近くの林道沿いでホンドギツネに出会いました。

ホンドギツネは食肉目イヌ科で、本州、四国、九州に分布します。北海道で見られるキタギツネはホンドギツネよりも体格が一回り大きく、四肢の足首部分が黒くなっているという違いがあります。ホンドギツネもキタギツネもアカギツネの亜種になります。ちなみにアカギツネは陸上で暮らす哺乳類（ヒト以外）の



中で最も広い範囲に生息する動物といわれています。

キツネは警戒心が強く人に近づいてくることは少ないとされていますが、この個体はビニール袋のカサカサという音に寄ってきました。大きな音を立て威嚇しても繰り返して近づいてきました。このことから、この



個体は餌付けされてしまっていることが考えられます。

↑【写真11 キタギツネ】 四肢の足首部分が黒いのが分かる。

←【写真9、10 大杉谷のホンドギツネ】

人になれてしまっている。追い払っても何度も近寄ってきた。

野生動物へのかかわり方について

自然が好きであれば、野生動物に出会うと興奮し、近づいてよく見たい気持ちになるかもしれません。人間より体が小さく危険の少ないような動物であれば、触りたいと思うこともあるかもしれません。しかし、野生動物へこちらから干渉せず、距離感を保つことをお互いのために守りましょう。

野生動物にとって人からの餌付けは、食べ物を探す手間が省け、自然界にはない高カロリーなものを手に入れられる魅力的なものです。一度人間の食べ物を口にした動物たちは、自分で餌を探すことをしなくなり、人間へ平気で近づくようになるなど行動が変化します。

人間の食べ物は、野生動物たちの普段の食生活では得られない脂質などを多く含んでいるため、消化不良を起こし体調を崩してしまい病気などを発症し、死に至る場合もあります。

また、野生動物はさまざまな人獣共通の病気を持っています。近づくとすることは人間がこれらの病気をもらってしまうリスクを負います。

こうしたことから一人一人が餌付けやゴミの投棄をしないよう心がけましょう。

<参考文献>

- ・ 浦口宏二. 森の野生動物に学ぶ101のヒント. (社)日本林業技術協会. 2003, p. 48-49 p. 100-101 p. 150-151
- ・ “キツネから考える環境と適応”. 上信越高原国立公園鹿沢インフォメーションセンター. 2016.
<https://www.kazawa.jp/fieldnote/2016-05-21-04-59-37> . (参照2025-6-3)
- ・ 野口大心. “制作こぼれ話「キツネは世界で大繁栄！」”. NHKダーウィンが来た！. 2023.
<https://www.nhk.jp/p/darwin/ts/8M52YNKXZ4/blog/bl/p9oerqkz41/bp/pzYxLvmwWk/> . (参照2025-6-3)
- ・ 田中翔太. “「キツネ大追跡！名古屋生きもの調査隊」制作ウラ話”. NHKダーウィンが来た！. 2024.
<https://www.nhk.jp/p/darwin/ts/8M52YNKXZ4/blog/bl/p9oerqkz41/bp/pQeAELDrxQ/> . (参照2025-6-3)
- ・ 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室. “野生動物への餌付け防止について”. 環境省.
<https://www.env.go.jp/nature/choju/index.html> . (参照2025-6-3)

編集：三重森林管理署 尾鷲森林事務所 係員
発行：三重森林管理署 尾鷲森林事務所 地域統括森林官